

自主防災組織のための 「避難生活計画書」 作成手引き



平成 19 年 3 月

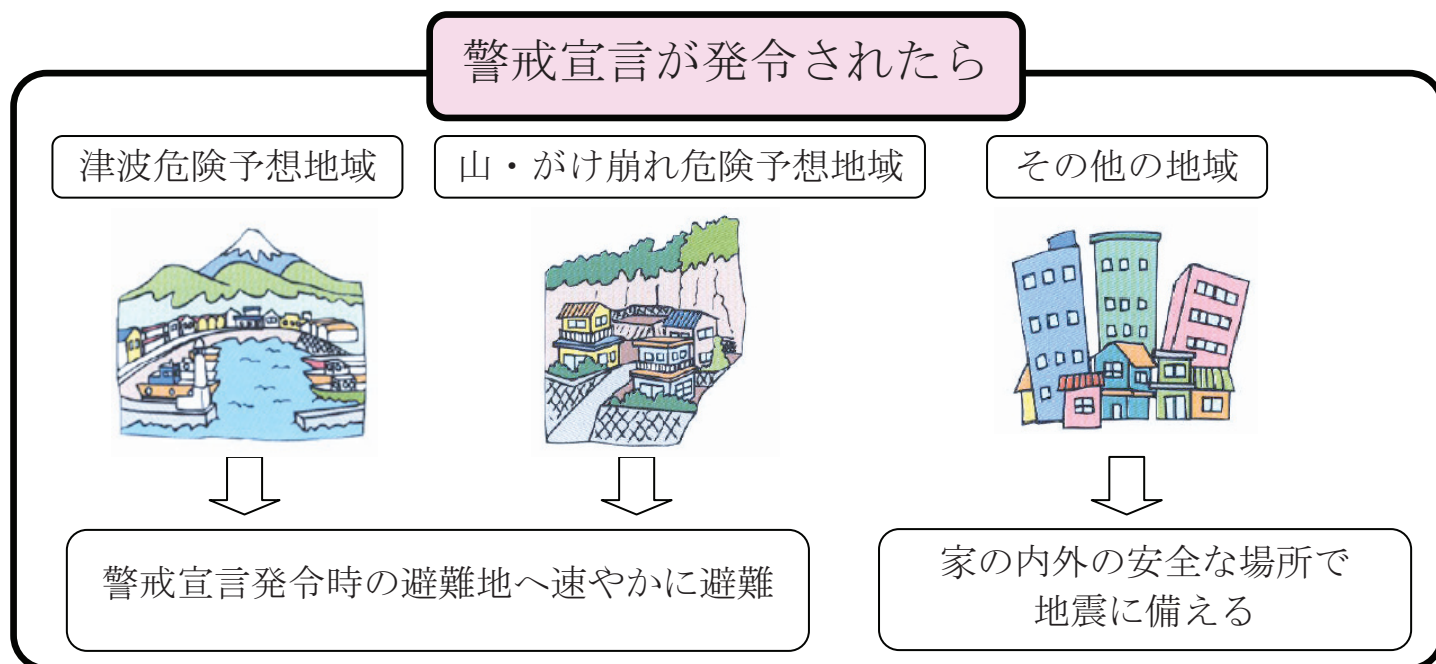
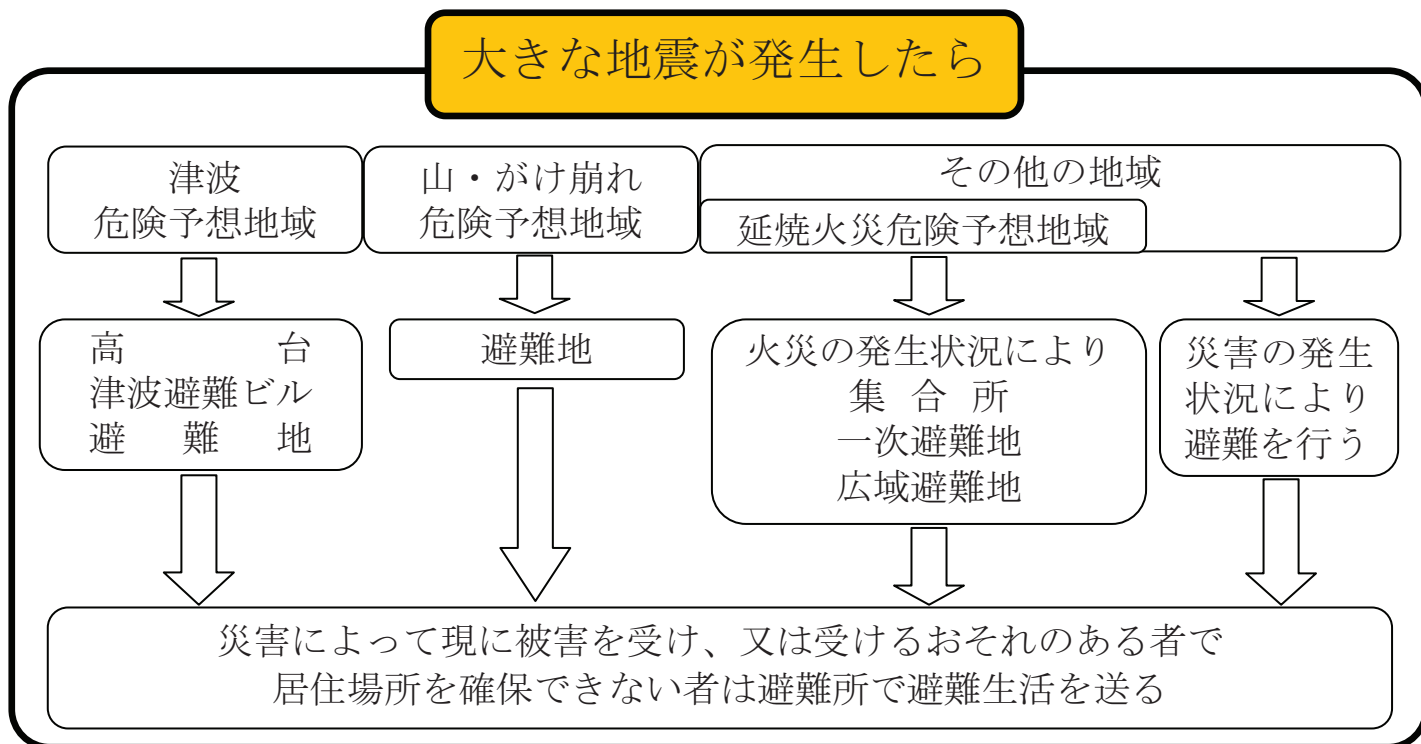
静 岡 県

目 次

▶ 地域の危険度を知りましょう	1
▶ 避難生活計画書を作成してみましょう	2
1 避難生活計画書とは	2
2 避難生活計画書の種類	2
3 あらかじめ作成しておくもの	3
4 避難生活計画書の作成	4
(1) 組織の状況	4
(2) 防災倉庫の備蓄状況	4
(3) 防災地図の作成	5
(4) 避難地や避難所の状況	5
(5) 避難地や避難所の運営組織	6
(6) 避難所周辺の状況	6
(7) 避難後に必要になるもの	7
5 避難生活計画書作成の流れ	7
▶ 様式	9
様式1「組織の状況」	9
様式2「防災倉庫備蓄表」	10
様式3「防災地図（自主防災組織の周辺図）」	11
様式4「避難地・避難所情報」	12
様式5「避難地 平面図」	13
様式6「避難地（要援護者用屋内避難施設） 平面図」	14
様式7「避難地運営組織」	15
様式8「避難所 平面図」	16
様式9「避難所運営組織」	17
様式10「避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所」	18
様式11「避難者リスト」	19
様式12「避難状況表」	20
▶ （作成例1）	
避難生活計画書（津波や山・がけ崩れの危険予想地域）	21
▶ （作成例2）	
避難生活計画書（その他の地域）	37

[表紙写真] 上段：体育館を利用した長岡市内の避難所の状況（平成16年新潟県中越地震）
下段：川口町役場前の炊き出しの状況（平成16年新潟県中越地震）

▶ 地域の危険度を知りましょう



- ※ 避難地・・・津波や山・がけ崩れの危険予想地域の住民等の避難のために市町が指定した避難場所
- 集合所・・・火災時の一時的避難や一次避難地へ移動するときの集合場所
- 一次避難地・・・火災時に広域避難地に到達するまでの中継拠点
- 広域避難地・・・火災拡大時の最終避難場所

▶ 避難生活計画書を作成してみましょう

1 避難生活計画書とは

警戒宣言発令時や大地震発生時には多くの避難者が発生することが予想されます。

混乱を避け避難生活を秩序よく運営するためには、あらかじめ必要な事項（組織の状況、避難地や避難所の状況など）をまとめておく必要があります。この必要な事項をまとめた計画書が避難生活計画書です。

市町、避難地や避難所となる施設の管理者と自主防災組織でよく話し合い、協力して避難生活計画書を作成しておきましょう。



2 避難生活計画書の種類

避難生活計画書は、津波や山・がけ崩れの危険予想地域とその他の地域でまとめておく事項が異なります。

避難生活計画書（津波や山・がけ崩れの危険予想地域）

- 津波や山・がけ崩れの危険が予想される地域の自主防災組織が作成します。
- 警戒宣言発令から発災までの避難地での生活に必要な事項と地震発生時の避難所での生活に必要な事項をまとめたものです。
- 様式1から様式12までを使用します。

避難生活計画書（その他の地域）

- 津波や山・がけ崩れの危険が予想される地域以外の自主防災組織が作成します。
- 地震発生時の避難所での生活に必要な事項をまとめたものです。
- 様式1から様式4までと様式8から様式12までを使用します。

※ 「避難生活計画書（津波や山・がけ崩れの危険予想地域）」は、地震発生前の避難生活に必要な事項と地震発生時の避難生活に必要な事項の両方を作成します。

「避難生活計画書（その他の地域）」は、地震発生時の避難生活に必要な事項を作成します。

地震発生前の避難生活に必要な事項は、あらかじめ綿密に計画を作成することが可能です。

これに対し、地震発生時の避難生活に必要な事項は、被災者数や避難所となる施設の使用可能状況など不確定な要素があるため、あらかじめ綿密な計画を作成しておくのが困難な部分があります。

したがって、地震発生前の避難生活に必要な事項はあらかじめ作成し、地震発生時の避難生活に必要な事項は作成できる範囲までにとどめ、避難所の運営に至った時点で必要事項を作成することとします。

3 あらかじめ作成しておくもの

避難生活計画書の作成にあたって、あらかじめ組織内の世帯の状況や災害時要援護者の把握が必要です。このため、避難生活計画書を作成する前に、「世帯台帳」、「災害時要援護者台帳」の整備を進めましょう。

これらの台帳をすでに作成している自主防災組織は、必ずしもこの様式にする必要はありません。これらの台帳の更新に合わせ、避難生活計画書も見直してください。

■世帯台帳（モデル）

〔アラビヤの保護に配慮して自主防災組織会長が責任をもって保管する。〕
自主防災組織名

世帯主	電話 番号	避難 先	津波や山-がけ崩れ危険予想地域	警戒宣言発令時	避難地〔 親戚・知人宅に避難の場合、避難地の住所・氏名・電話番号 〕	
住所				突発地震時 [※]	津波避難ビル・高台・避難地・その他〔 〕	
住居 形態 [※]			延焼火災危険予想地域		一次避難地〔 〕	広域避難地〔 〕
地域 特性 [※]			その他の地区	〔 〕	避難所〔 親戚・知人宅に避難の場合、避難地の住所・氏名・電話番号 〕	

No.	(ふりがな) 氏名	続 柄	男 ・ 女 年 月 日	血液型		昼間の居場所（平日）	緊急時の自主防災 組織への協力			防災上の参考事項 役に立つ資格・技能 災害時要援護者の状況 等
				A B O	R h		平日	休日	夜間	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										

（記入上の注意）

- ※一該当する項目を○で囲む。
- 緊急時の自主防災組織への協力…小学生以下は除く。
- 防災上役立つ資格・技術等…（例）保健・助産・看護師、元警察官・元消防官・元消防団員・元自衛官、整休師、栄養士、調理師、アマチュア無線有資格者などを記入する。
- 災害時要援護者の状況…視力を要する場合、寝たきり、歩行障害、視力障害などの状況を記入する。

■災害時要援護者台帳（モデル）

〔アラビヤの保護に配慮して自主防災組織会長が責任をもって保管する。〕
自主防災組織名

状態	災害時要援護者氏名 住所、電話番号	特記事項	連絡先（支援者、民生委員など）			
			平日の昼間		夜間及び休日	
			氏名	連絡先	氏名	連絡先
			①		①	
			②		②	
			③		③	
	電話		④		④	
			①		①	
			②		②	
			③		③	
	電話		④		④	
			①		①	
			②		②	
			③		③	
	電話		④		④	

- （注）
- 特記事項には、移動に要する器具など、支援に際して留意すべき事項を具体的に記入する。
 - 昼夜とも家族だけで対応できる場合も含める。
 - 作成にあたり必要に応じ民生委員、地域防災指導員などの協力を得る。

4 避難生活計画書の作成

避難生活計画書は、避難地や避難所においてその運営をする際に必要となるものです。各様式は基本的なモデルとして示したものであり、各自主防災組織は、この様式を参照のうえ、必要に応じ各地域の実情に即した様式としてください。

すでに避難生活計画書を作成している自主防災組織は、必ずしもこの様式にする必要はありません。

また、これ以外に地域の状況により必要となる情報については、各組織が検討し様式の追加などを検討してください。

(1) 組織の状況

役員の氏名、連絡先や世帯数、人口など組織内の状況をまとめておきましょう。

また、組織の状況については、避難地や避難所を共用する他の自主防災組織と情報共有をしましょう。

役職	氏名	住所	電話	備考
会長	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××	携帯番号、勤務先など
副会長				
防災委員				
組長				1組

		1組	2組	3組	4組	5組	6組	合計
組織の概要	危険予想地域 (該当地域に○)	津波	津波	津波	津波	津波	津波	
		山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	
		なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	車両の活用の有無							
	世帯数(世帯)	44	40	30	40	50	46	250
	人口(人)	178	150	100	145	202	175	950
	避難に支援が必要な者(人)	7	6	3	6	8	6	36
外国人(人)	0	0	3	0	7	0	10	

危険予想地域	津波	山・がけ崩れ	なし	合計
対象地区	〇〇町〇〇		〇〇町〇〇	
世帯数(世帯)	204		46	250
人口(人)	775		175	950
避難に支援が必要な者(人)	30		6	36
外国人(人)	10		0	10

(2) 防災倉庫の備蓄状況

組織内の防災倉庫で備蓄している防災資機材などの状況をまとめておきましょう。

また、備蓄状況については、避難地や避難所を共用する他の自主防災組織や施設管理者と情報共有をしましょう。

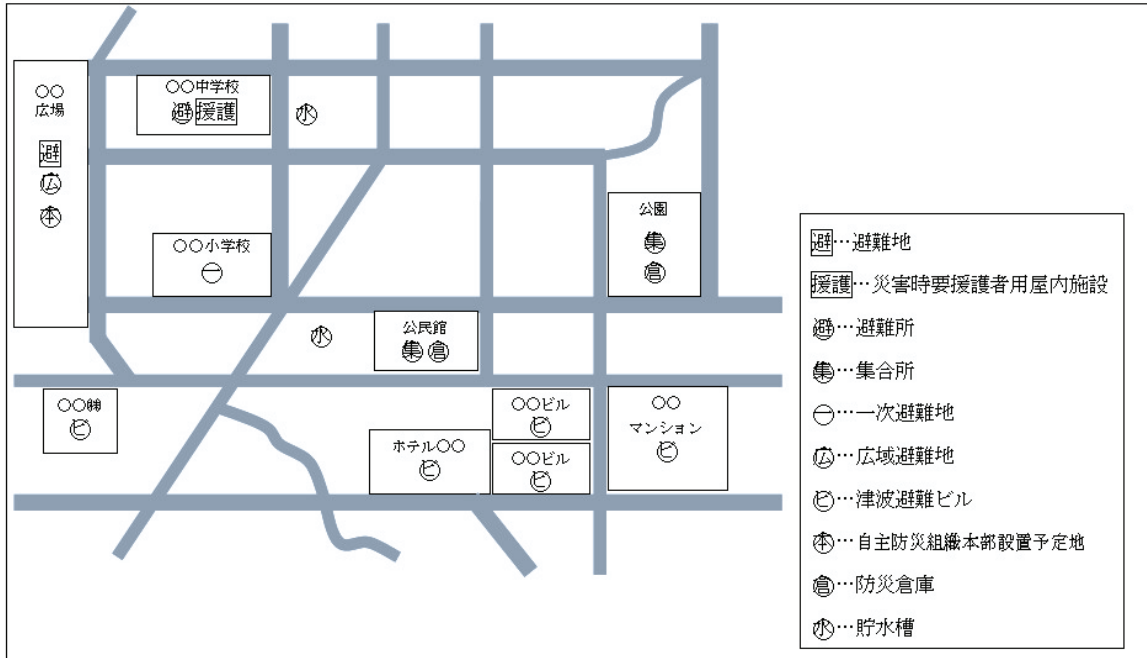
番号	防災倉庫の所在地	鍵の管理者名	住所	電話
1	〇〇公園内	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××
2	〇〇公民館敷地内	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××

種別	品目	防災倉庫番号		合計
		1	2	
救急救助	エンジンカッター	1	0	1
	ジッキ	1	1	2
避難生活(食)	食料	○食	○食	○食
	水	○リットル	○リットル	○リットル



(3) 防災地図の作成

避難地、避難所、火災時に避難する一次避難地や広域避難地などの位置、防災倉庫の位置、自主防災組織本部設置予定場所など地区周辺の状況などがわかるように地図を作成しましょう。



(4) 避難地や避難所の状況

避難地、避難所、火災時に避難する一次避難地や広域避難地などについて情報をとりまとめておきましょう。

なお、単独の自主防災組織では作成が困難であったり、自主防災組織間だけでは収集・整理しきれない部分があります。

この場合は、市町や施設管理者との情報交換や共同作業の場が必要となります。

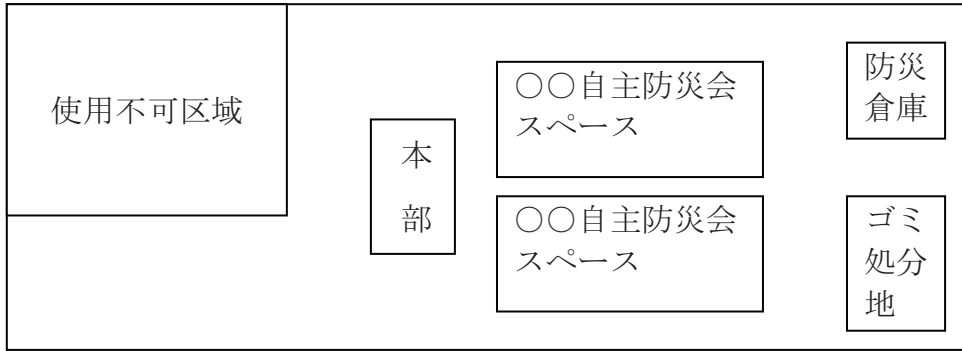
名称	避難地		避難所	
	〇〇広場	〇〇中学校 (要援護者用屋内避難施設)	〇〇中学校	
建物の耐震性		A校舎	有・無	A校舎
			有・無	B校舎
			有・無	体育館
			有・無	有・無
施設管理者	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
連絡先	×××-××××	×××-××××	×××-××××	
共用する自主防災組織	〇〇自主防災会	〇〇自主防災会	〇〇自主防災会	

名称	津波避難ビル		
	〇〇ビル	〇〇株式会社	ホテル〇〇
外階段の有無	×	×	○



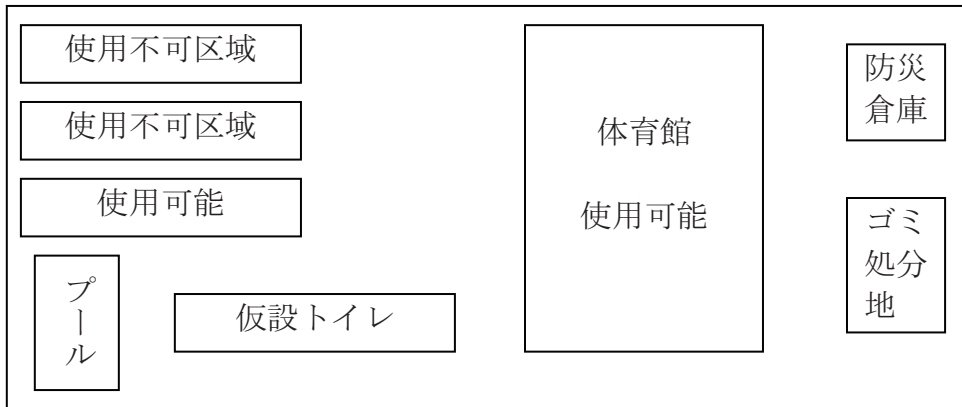
避難地平面図

(避難地名：〇〇広場)



避難所平面図

(避難所名：〇〇中学校)



(5) 避難地や避難所の運営組織

避難地の運営組織については、あらかじめ誰が何を担当するかについて、避難地を共用する自主防災組織と協力して運営組織を決めておきましょう。

避難所の運営組織については、どのような組織が必要となるか、事前に避難所を共用する自主防災組織で検討をしておき、発災時に運営組織を書き込めるようにしておきましょう。

運 営 本 部			所 属	役 職	氏 名
	本部長		〇〇自主防災会	会長	〇〇 〇〇
	副本部長		〇〇自主防災会	会長	〇〇 〇〇
	総務班	班長	〇〇自主防災会	役員	〇〇 〇〇
副班長		〇〇自主防災会	役員	〇〇 〇〇	

(6) 避難所周辺の状況

発災時は、けがをしている者や避難所での生活により体調を崩す者がでてきます。また、避難所での生活が困難な災害時要援護者の対応も必要となってきます。

事前に避難所周辺の医療機関や福祉避難所の情報をまとめておきましょう。

	名 称	電 話	所 在 地
救護所	〇〇中学校	×××-××××	〇〇町〇〇
救護病院	〇〇病院	×××-××××	〇〇町〇〇
福祉避難所	〇〇老人保健施設	×××-××××	〇〇町〇〇



(7) 避難後に必要になるもの

避難者リストと避難状況表

警戒宣言発令時や災害発生時に、避難地や避難所に誰がいるのかを把握することは最も重要です。

避難地や避難所にいない住民は、無事なのか、知人宅等にいるのか、自宅にいるのかなど安否確認を速やかに行うためにも、事前に避難者リストの様式や避難状況表の様式を作成しておきましょう。

No.	氏名	性別	住所	備考
1	〇〇 〇〇	男	〇〇町〇〇	
2	〇〇 〇〇	女	〇〇町〇〇	

区・組		1組	2組	3組	4組	5組	6組	合計
組織の概要	世帯数	44	40	30	40	50	48	250
	人口	178	150	100	145	202	175	950
避難地・避難所にいる者	世帯数							
	人口							
うち災害時要援護者	人口							
知人宅等にいる者	世帯数							
	人口							

5 避難生活計画書作成の流れ

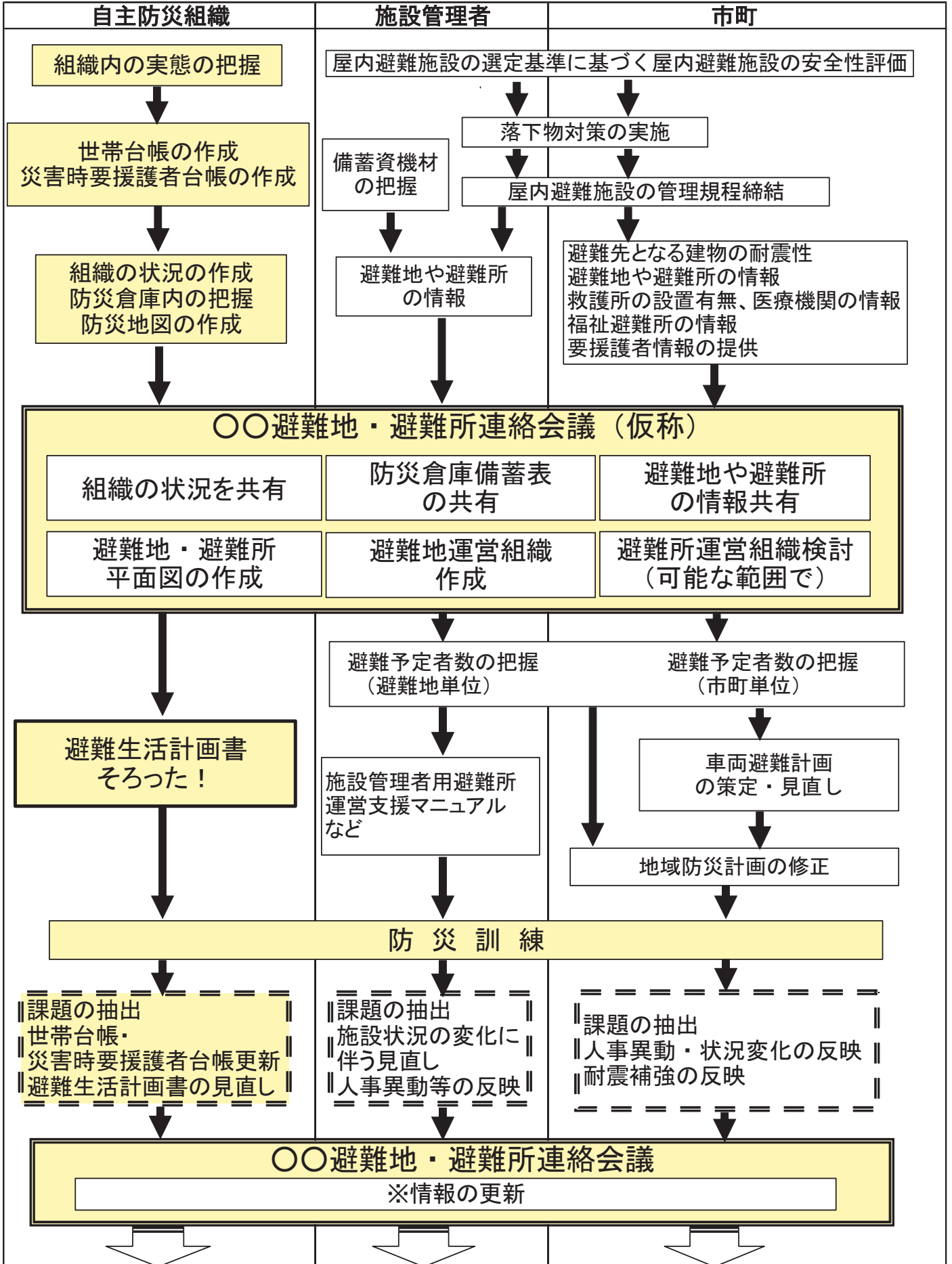
避難生活計画書を作成するためには、必要に応じ避難地や避難所を単位とする連絡会議等を開催し情報交換するとともに、組織の状況や防災資機材などの備蓄状況について自主防災組織相互で共有します。

避難生活計画書の作成においては、避難地や避難所の運営組織に関わる部分や、避難地や避難所の使用可能場所における各自主防災組織の区割りなど、単独の自主防災組織では作成が困難であったり、自主防災組織間だけでは収集・整理しきれない部分があります。

これらについては、市町や施設管理者との情報交換や共同作業の場が必要となります。

(次ページの流れ図参照)

「避難生活計画書」作成の流れ（例）



組織の状況

(役員名簿)

役職	氏名	住 所	電 話	備 考
会長				
副会長				
防災委員				
防災委員				
防災委員				
組長				
組長				
組長				
組長				
組長				
組長				

(組織の概要)

組織の概要	区・組	津波	津波	津波	津波	津波	津波	合計	
	危険予想地域 (該当地域に○)	津波	津波	津波	津波	津波	津波	津波	/
		山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	
		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
車両の活用の有無									
世帯数 (世帯)									
人口 (人)									
避難に支援が必要な者 (人)									
外国人 (人)									

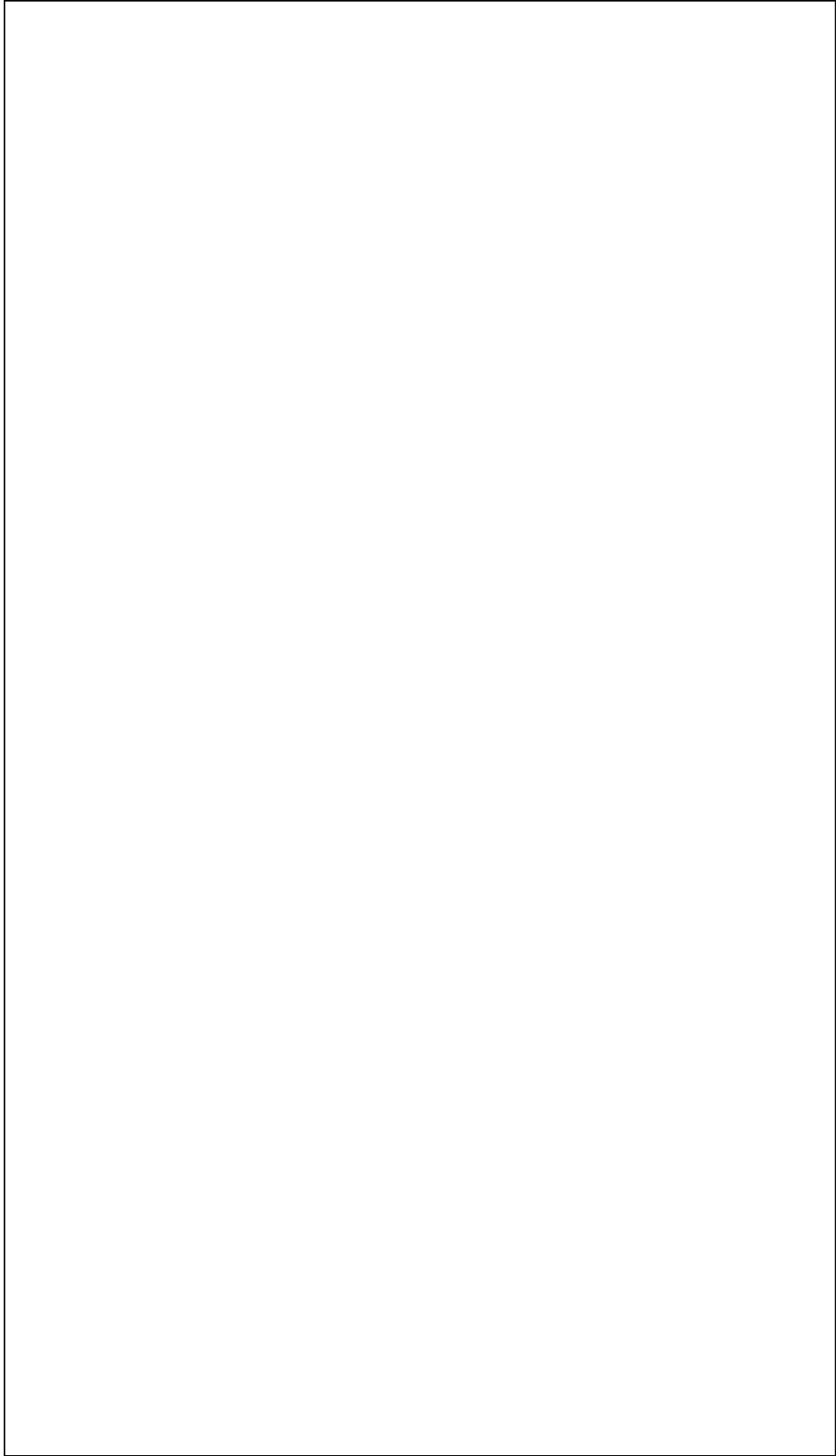
危険予想地域	津波	山・がけ崩れ	なし	合 計
対象地区				/
世帯数 (世帯)				
人口 (人)				
避難に支援が必要な者 (人)				
外国人 (人)				

防災倉庫備蓄表

番号	防災倉庫の所在地	鍵の管理者名	住所	電話
1				
2				

種別	品目	防災倉庫番号		合計	種別	品目	防災倉庫番号		合計
		1	2				1	2	
救急救助					情報・組織				
						汎用			
						初期消火			
						避難生活【食】			
救急救命					避難生活【住】				

防災地図（自主防災組織の周辺図）



避難地・避難所情報

市町連絡先名	電話	地域防災無線番号	地域防災無線自局呼出番号

	避難地		避難所	
名 称	(要援護者用屋内避難施設)			
建物の耐震性		有・無		有・無
		有・無		有・無
		有・無		有・無
		有・無		有・無
施設管理者 連絡先				
共用する自主防災組織				

集合所（火災時の一時的避難や一次避難地へ移動するときの集合場所）			
名 称			
施設管理者			
連絡先			
避難する組			

	一次避難地	広域避難地	
名 称			
施設管理者			
連絡先			
共用する自主防災組織			

※一次避難地（火災時に広域避難地に到達するまでの中継拠点）

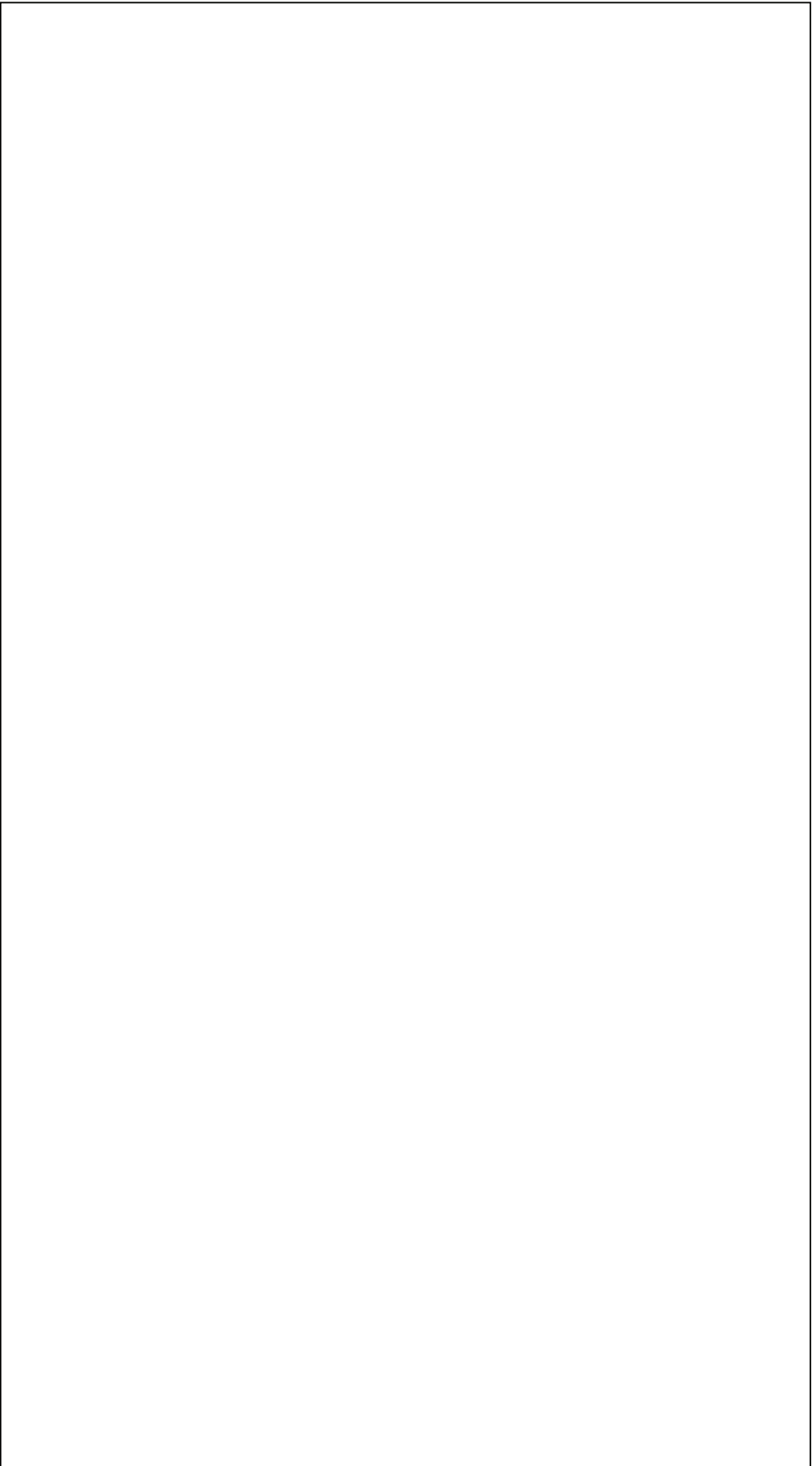
※広域避難地（火災拡大時の最終避難場所）

津波避難ビル			
名 称			
外階段の有無			
名 称			
外階段の有無			

様式 5

避難地 平面図

(避難地名：)



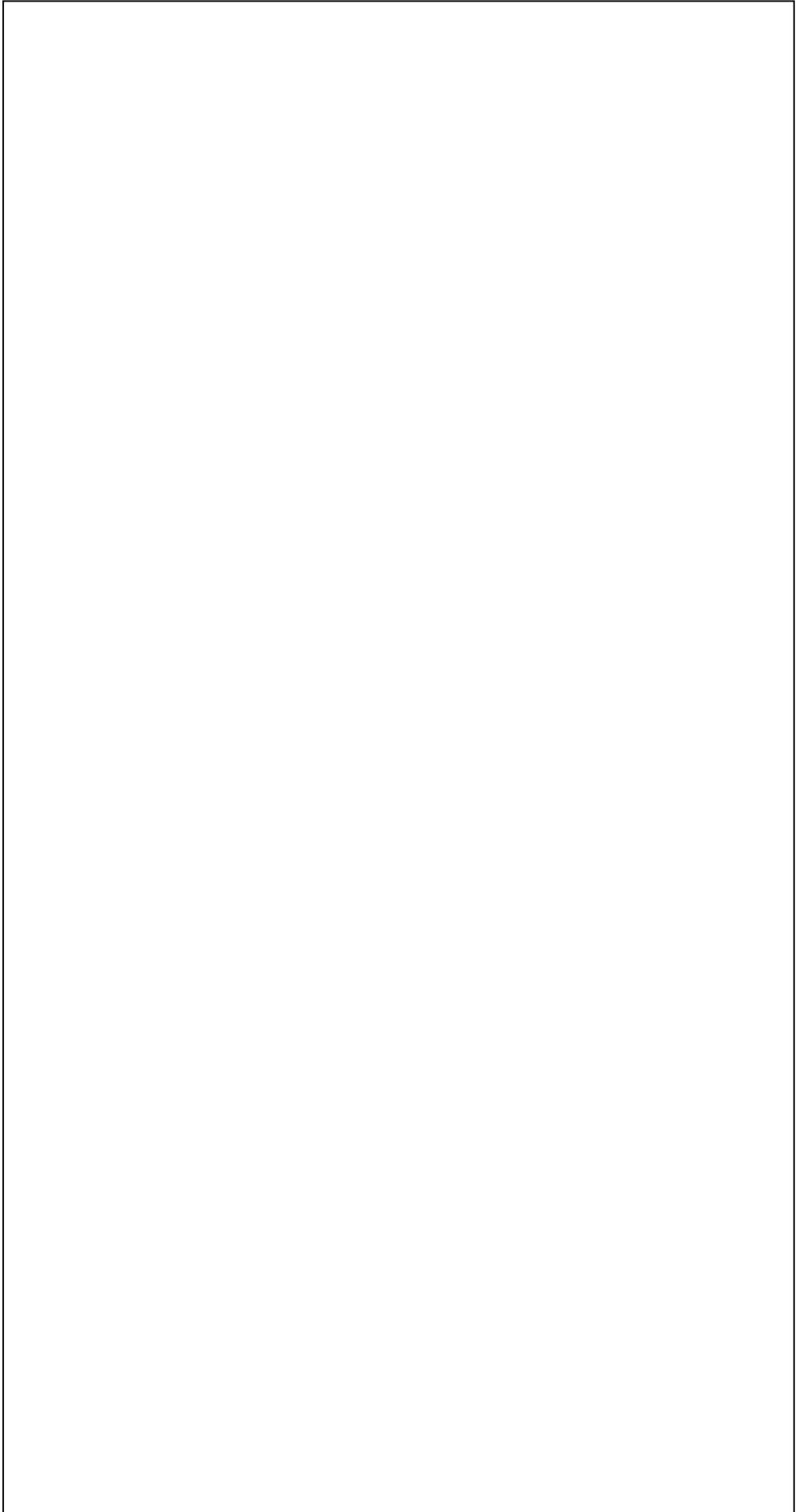
様式 6

避難地 (要援護者用屋内避難施設)

平面図

(屋内避難施設名：)

建物			
耐震性	有・無	有・無	有・無



避難地運営組織

運営本部			所属	役職	氏名
	本部長				
	副本部長				
	総務班	班長			
		副班長			
	管理班	班長			
		副班長			
	情報班	班長			
		副班長			
	食料・物資班	班長			
		副班長			
	施設管理班	班長			
		副班長			
	保健・衛生班	班長			
		副班長			
	災害時要援護者班	班長			
		副班長			

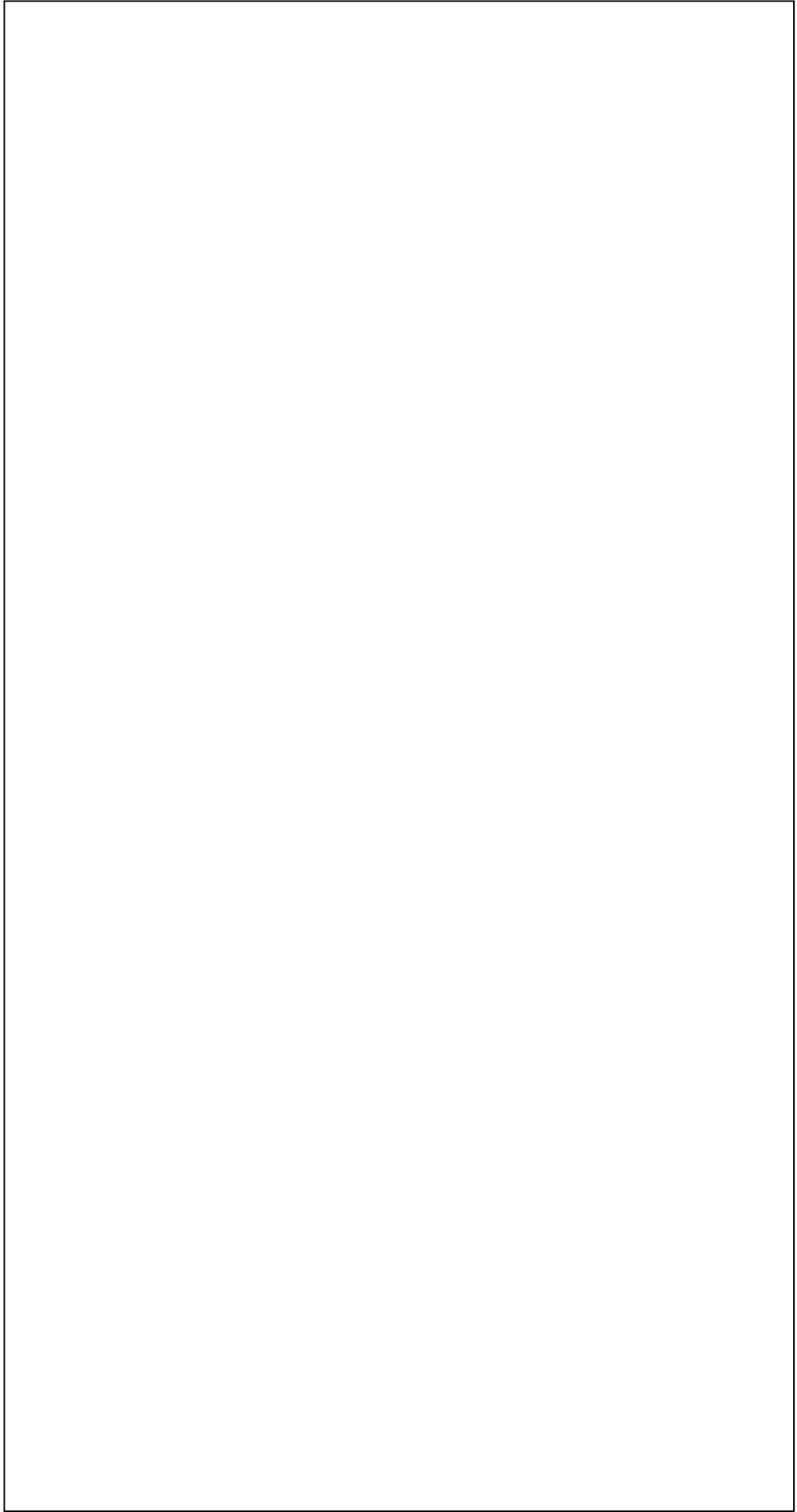
関係機関	氏名	連絡先	備考
市町連絡員			
施設管理者			
民生委員・児童委員			
身体障害者相談員			
知的障害者相談員			
地域防災指導員			

樣式 8

避難所 平面図

(避難所名：)

建物			
耐震性	有・無	有・無	有・無



避難所運営組織

運営本部			所属	氏名	備考	
	本部長					
	副本部長					
	総務班	班長				
		副班長				
	被災者管理班	班長				
		副班長				
	情報班	班長				
		副班長				
	食料・物資班	班長				
		副班長				
	施設管理班	班長				
		副班長				
	保健・衛生班	班長				
		副班長				
災害時要援護者班	班長					
	副班長					
ボランティア班	班長					
	副班長					

居住組	組長	副組長	居住組	組長	副組長
1 組			11 組		
2 組			12 組		
3 組			13 組		
4 組			14 組		
5 組			15 組		
6 組			16 組		
7 組			17 組		
8 組			18 組		
9 組			19 組		
10 組			20 組		

関係機関	氏名	連絡先	備考
市町連絡員			
施設管理者			
民生委員・児童委員			
身体障害者相談員			
知的障害者相談員			
地域防災指導員			

避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所

	名 称	電 話	所在地
救護所			
救護病院			
仮設救護病院			
災害拠点病院			
近隣の医療機関			
福祉避難所			

※福祉避難所：災害時要援護者のために特別の配慮がなされた避難所

避難者リスト

No.	氏名	性別	住所	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

避難状況表

区・組								合計
組織の概要	世帯数							
	人口							
避難地・避難所にいる者	世帯数							
	人口							
うち災害時要援護者	人口							
知人宅等にいる者	世帯数							
	人口							
自宅にいる者	世帯数							
	人口							
避難地・避難所にいる ペット数	犬							
	猫							
	その他							

▶ (作成例 1)

平成○年○月○日作成

平成○年度 ○○自主防災会

避難生活計画書

(津波や山・がけ崩れの危険予想地域)

構成している町丁目	○○町○丁目
	○○町○丁目

〇〇自主防災会避難生活計画書（作成例）

第1 趣旨

この避難生活計画書は、警戒宣言発令時や地震発生時に避難生活が円滑及び迅速にできるよう必要となる事項を定める。

第2 計画に必要なとなる台帳の整備

この避難生活計画書を作成するために必要となる「世帯台帳」及び「災害時要援護者台帳」については、原則として毎年1回見直しをする。

第3 組織の状況

- 1 様式1「組織の状況」に、役員の氏名、連絡先や世帯数、人口など組織内の状況を記載する。
- 2 会長は、組織内の防災対策及び災害応急対策に関する業務の責任者とする。
- 3 副会長は、会長を助け、会長に事故があるとき、又は不在のときは会長に代わって業務を行う。

第4 東海地震注意情報発表時の対応

- 1 東海地震注意情報の発表を知った者は、速やかに会長に報告する。会長が不在のときは副会長に報告する。
- 2 会長は、様式1「組織の状況」の役員名簿に基づき、副会長、防災委員、各組長の所在を確認し、連絡が取れるようにする。
- 3 会長、副会長、防災委員は、様式2「防災倉庫備蓄表」に基づき、資機材、備蓄食料等の確認を行う。
- 4 各組長は、住民等に東海地震注意情報の発表を伝達するとともに、冷静な行動の呼び掛けを行う。

なお、災害時要援護者については、準備行動として必要に応じて避難ができるため、「災害時要援護者台帳」に基づき、避難地への避難誘導の支援を行う。この場合、様式4「避難地・避難所情報」に基づき、市町や避難地の施設管理者等と連絡を取り、連携を図る。

第5 警戒宣言発令時の対応

- 1 警戒宣言の発令を知った者は、速やかに会長に報告する。会長が不在のときは副会長に報告する。
- 2 会長は、様式1「組織の状況」の役員名簿に基づき、副会長、防災委員、各組長に警戒宣言の発令を速やかに伝達する。
- 3 各組長は、住民等に警戒宣言の発令を伝達するとともに、避難をするよう呼び掛けを行う。
- 4 災害時要援護者の避難については、各組内で支援を行う。
- 5 会長は、組織内の状況について、必要に応じて市町へ報告する。

第6 警戒宣言発令時の避難地への避難

- 1 警戒宣言が発令されたときは、住民等は様式4「避難地・避難所情報」に記載された「避難地」に避難する。
なお、屋内での避難生活を必要とする災害時要援護者（介護者等を含む）は、「要

援護者用屋内避難施設」に避難する。

- 2 山間地で避難地までの距離が遠く、徒歩による避難が困難なため車両を活用することを市町長が認めている〇〇地区は、速やかに避難地まで車両を使用して避難する。
- 3 会長は、避難状況を確認後市町に報告する。
- 4 自力避難が困難な災害時要援護者については、組織内で避難地まで搬送する。
- 5 屋内での避難生活を必要とする災害時要援護者のうち、様式4「避難地・避難所情報」に記載された要援護者用屋内避難施設での生活が困難な者については、福祉避難所等に避難が必要なため、市町の連絡員に報告する。
- 6 安全な地域に居住する知人宅等に避難することができる者にあつては、知人宅等を避難先とすることができるため、知人宅等に避難する者の把握に努める。

第7 警戒宣言発令時の避難地の生活方法

- 1 屋外での避難生活は次に掲げる方法による。
 - (1) 組織、市町や各家庭で用意しているテント、ビニールシート、寝袋等を使用する。
 - (2) テントを使用する場合、テント内の1人あたり必要面積は約3㎡を目安とする。
 - (3) ビニールシート及び寝袋を使用する場合、1人あたり必要面積は約2㎡を目安とする。
- 2 災害時要援護者用の屋内避難施設での避難生活の1人あたり必要面積は約3㎡を目安とする。
- 3 避難地の使用可能場所、共用する自主防災組織ごとの区割りなどについて、様式5「避難地平面図」、様式6「避難地（要援護者用屋内避難施設）平面図」に記載する。

第8 警戒宣言発令時の避難地運営組織

避難地を共用する他の自主防災組織と協力して避難地を運営するための組織について、様式7「避難地運営組織」に記載する。

第9 地震発生時の避難

- 1 会長、副会長、防災委員、各組長は、組織内の住民等に対し、様式4「避難地・避難所情報」に記載された避難地への避難を開始するよう呼び掛ける。
- 2 津波警報、津波注意報等津波に関する情報について、同時通報用無線、ラジオ等からの情報収集に努める。
- 3 津波の襲来までに時間的余裕がない場合は、様式4「避難地・避難所情報」に記載された津波避難ビルのほか近くの高台へ避難する。
- 4 自力避難が困難な災害時要援護者については、組織内で津波避難ビルや避難地まで搬送する。
- 5 会長は、避難状況を確認後市町に報告する。

第10 津波や山・がけ崩れの危険がなくなった後の避難

- 1 地震発生時に建物の倒壊などにより生活場所が確保できない住民等は様式4「避難地・避難所情報」に記載された「避難所」に避難する。
- 2 地震発生時に火災が延焼拡大し住民等による消火が不可能になった場合は様式4「避難地・避難所情報」に記載された「集合所」に避難する。
- 3 住民等は、「集合所」周辺の火災が拡大し危険が予想されるときは、できる限り集団避難方法により様式4「避難地・避難所情報」に記載された「一次避難地」に避難する。
- 4 一次避難地に危険が迫ったときは、様式4「避難地・避難所情報」に記載された「広

域避難地」に避難する。

- 5 自力避難が困難な災害時要援護者については、組織内で避難所、集合所、一次避難地、広域避難地まで搬送する。
- 6 会長は、避難状況を確認后市町に報告する。
- 7 災害時要援護者のうち、避難所での生活が困難な者については、福祉避難所等に避難が必要なため、市町の連絡員に報告する。
- 8 自宅や知人宅などで生活する者の把握に努める。

第11 避難所の生活方法

- 1 避難所生活の1人あたり必要面積は約3㎡を目安とする。
- 2 避難所の使用可能場所、避難所を共用する自主防災組織ごとの区割りなどについて、発災後、様式8「避難所平面図」に記載する。

第12 避難所運営組織

避難所を共用する他の自主防災組織と協力して避難所を運営するための組織について、発災後、様式9「避難所運営組織」に記載する。

第13 医療救護施設・福祉避難所

避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所について、様式10「避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所」に記載する。

第14 避難者の把握

- 1 様式11「避難者リスト」により避難者を把握する。
- 2 様式12「避難状況表」により組織内の避難状況をまとめる。

第15 避難所の運営

避難所の運営については、第12で定めた避難所運営組織を中心として、避難所運営マニュアルなどを参考に運営する。

組織の状況

(役員名簿)

役職	氏名	住 所	電 話	備 考
会長	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××	携帯番号、勤務先など
副会長				
防災委員				
防災委員				
防災委員				
組長				1組
組長				2組
組長				3組
組長				4組
組長				5組
組長				6組

(組織の概要)

組織の概要	区・組	1組	2組	3組	4組	5組	6組	合計	
	危険予想地域 (該当地域に○)		津波	津波	津波	津波	津波	津波	
			山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	
			なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	車両の活用の有無								
	世帯数 (世帯)		44	40	30	40	50	46	250
	人口 (人)		178	150	100	145	202	175	950
	避難に支援が必要な者 (人)		7	6	3	6	8	6	36
外国人 (人)		0	0	3	0	7	0	10	

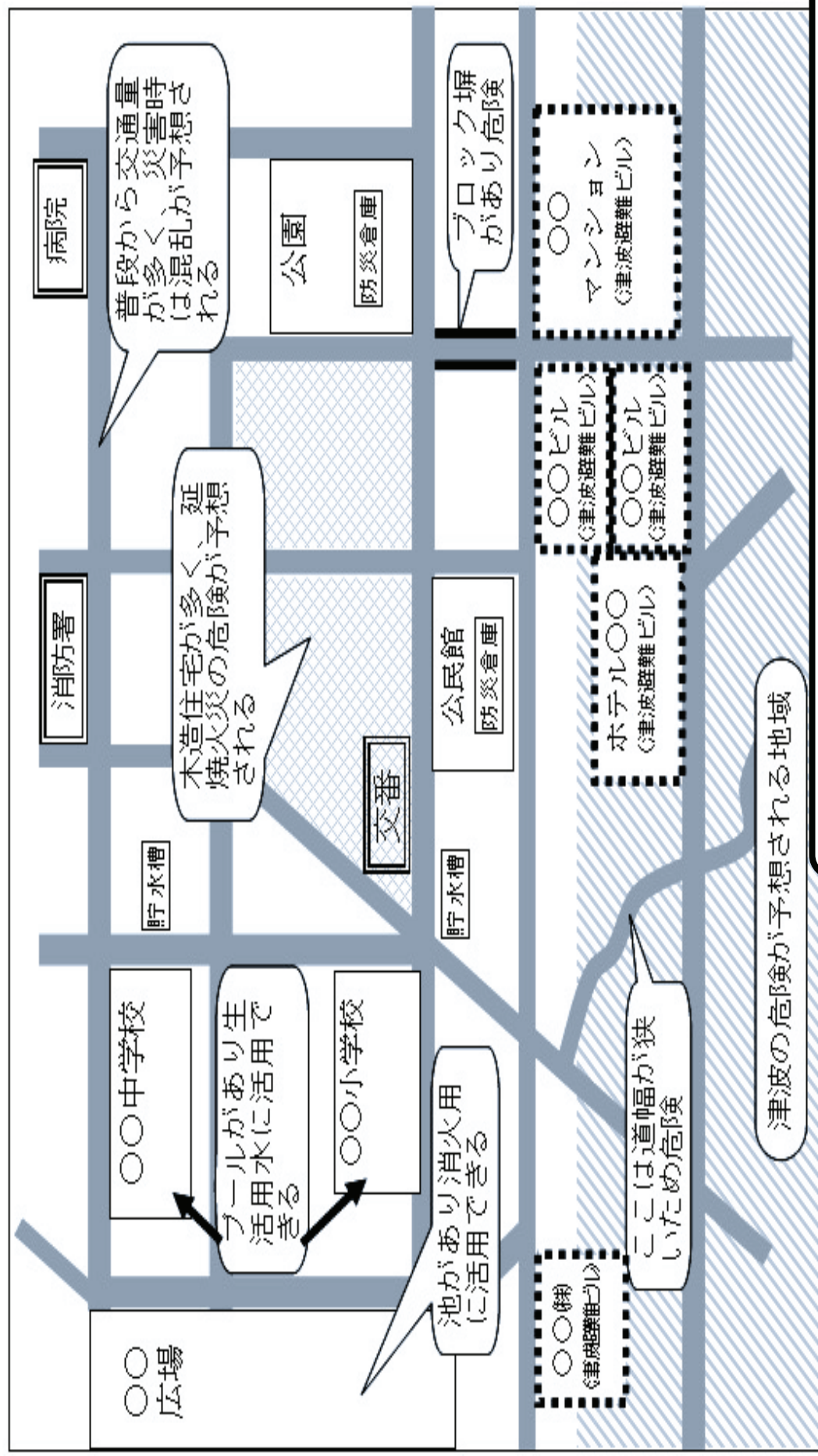
危険予想地域	津波	山・がけ崩れ	なし	合 計
対象地区	〇〇町〇〇		〇〇町〇〇	
世帯数 (世帯)		204	46	250
人口 (人)		775	175	950
避難に支援が必要な者 (人)		30	6	36
外国人 (人)		10	0	10

防災倉庫備蓄表

番号	防災倉庫の所在地	鍵の管理者名	住所	電話
1	〇〇公園内	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××
2	〇〇公民館敷地内	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××

種別	品目	防災倉庫番号		合計	種別	品目	防災倉庫番号		合計	
		1	2				1	2		
救急救助	エンジンカッター	1	0	1	情報・組織	電池メガホン				
	チェンソー	1	1	2		無線機				
	ジャッキ					標旗				
	バール					腕章				
	大ハンマー					汎用	小型発電機			
	片手ハンマー				燃料 (ガソリン)					
	鉄線カッター				乾電池 (単一)					
	掛矢				乾電池 (単二)					
	とび口				乾電池 (単三)					
	斧				乾電池 ()					
	なた				強力ライト					
	ペンチ				土のう袋					
	スコップ				初期消火		消火器			
	つるはし						バケツ			
	くわ					可搬ポンプ				
	脚立・はしご					砂・砂袋				
	ロープ					避難生活【食】	食料			
	防塵マスク				水					
	防塵メガネ				受水槽					
	軍手				ろ水器					
リヤカー				釜						
一輪車				鍋						
ゴムボート				ポリタンク						
スコップ				避難生活【住】	テント・天幕					
					ビニールシート					
					仮設トイレ					
					排便収納袋					
					毛布					
救急救命	担架									
	救急セット									
	三角巾									

防災地図 (自主防災組織の周辺図)



☆ 防災地図 (自主防災組織の周辺図) に避難地や避難所などの基礎情報を記載したら、災害図上訓練DIG (Disaster Imagination Game) や現地調査などを実施することにより、危険性や災害時に活用できるものを防災地図に記載するなど、いろいろな情報を記載していきましょう。

避難地・避難所情報

市町連絡先名	電話	地域防災無線番号	地域防災無線自局呼出番号
〇〇課	×××-××××	×××-××-××	×××-××-××

	避難地		避難所	
名 称	〇〇広場	〇〇中学校 (要援護者用屋内避難施設)		〇〇中学校
建物の耐震性		A校舎	(有)・無	A校舎 (有)・無
			有・無	B校舎 (有)・無
			有・無	体育館 (有)・無
			有・無	有・無
施設管理者	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		〇〇 〇〇
連絡先	×××-××××	×××-××××		×××-××××
共用する自主防災組織	〇〇自主防災会	〇〇自主防災会		〇〇自主防災会

集合所 (火災時の一時的避難や一次避難地へ移動するときの集合場所)			
名 称	〇〇公園	〇〇公民館	
施設管理者	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
連絡先	×××-××××	×××-××××	
避難する組	1 から 3 組	4 から 6 組	

	一次避難地	広域避難地	
名 称	〇〇小学校	〇〇広場	
施設管理者	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
連絡先	×××-××××	×××-××××	
共用する自主防災組織	〇〇自主防災会	〇〇自主防災会	
		〇〇自主防災会	

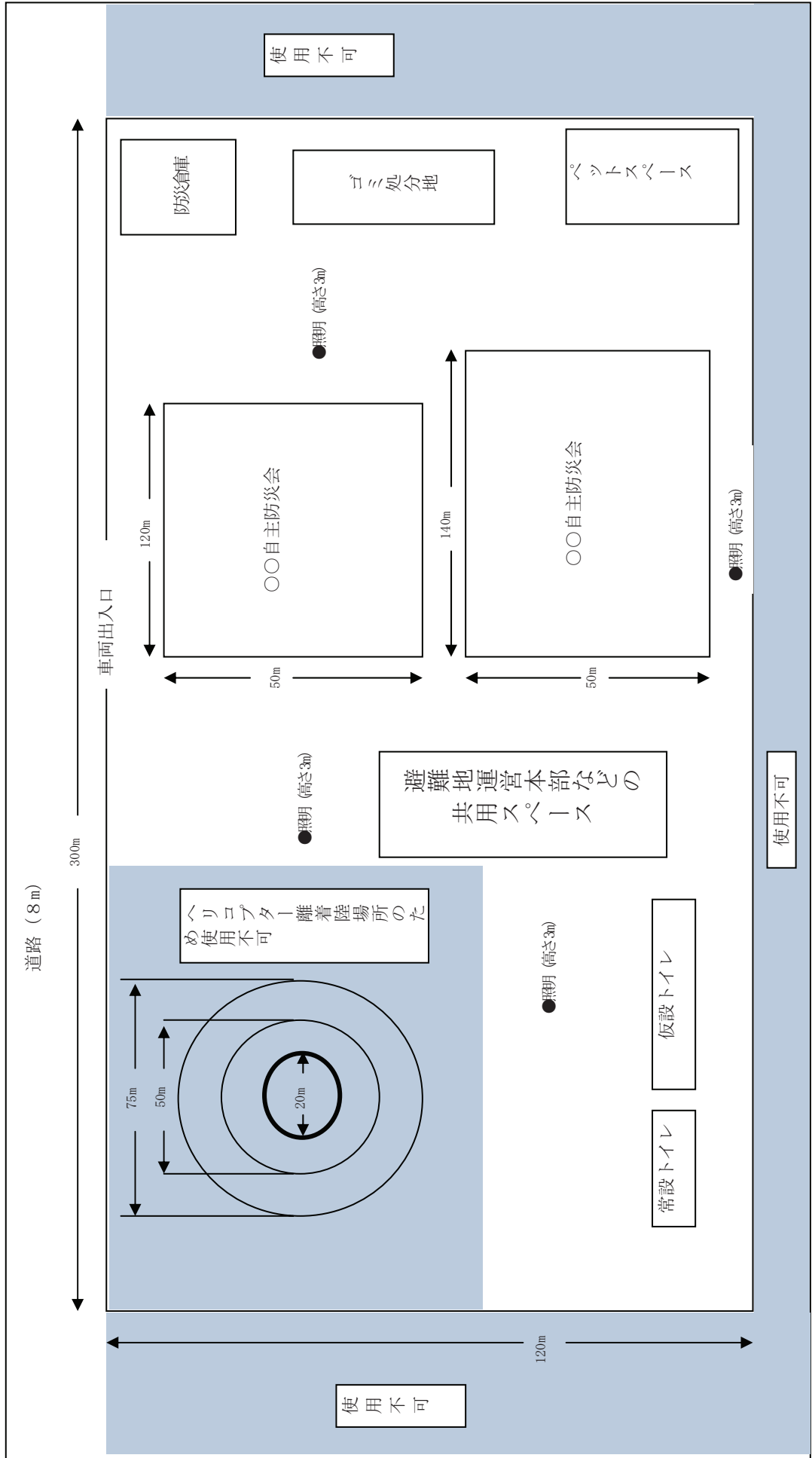
※一次避難地 (火災時に広域避難地に到達するまでの中継拠点)

※広域避難地 (火災拡大時の最終避難場所)

	津波避難ビル		
名称	〇〇ビル	〇〇株式会社	ホテル〇〇
外階段の有無	×	×	○
名称	〇〇マンション屋上	〇〇ビル	
外階段の有無	○	×	

避難地 平面図

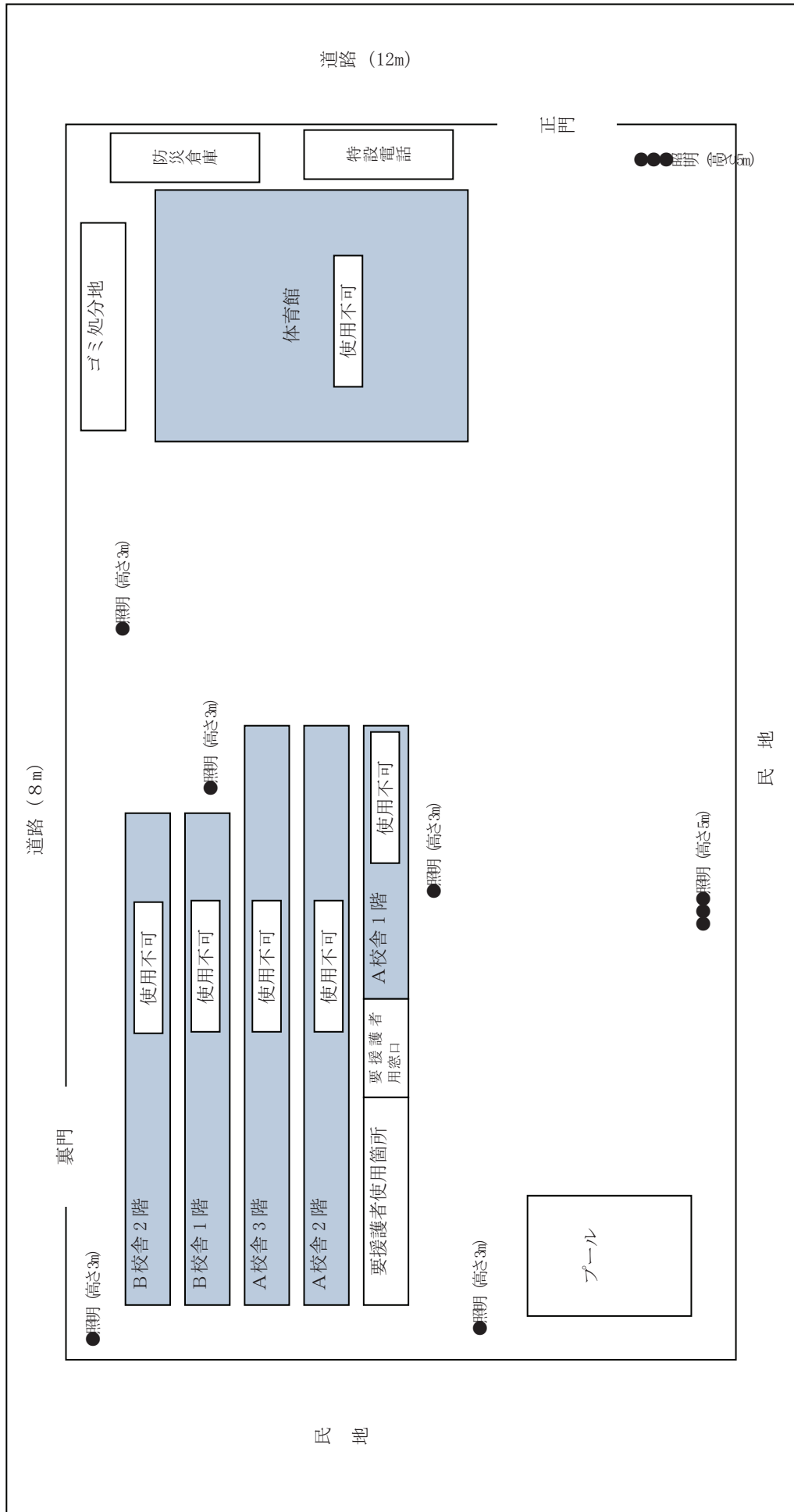
(避難地名：〇〇スポーツ広場)



避難地 (要援護者用屋内避難施設) 平面図

(屋内避難施設名：○○中学校)

建物	A校舎		
耐震性	有・無	有・無	有・無



避難地運営組織

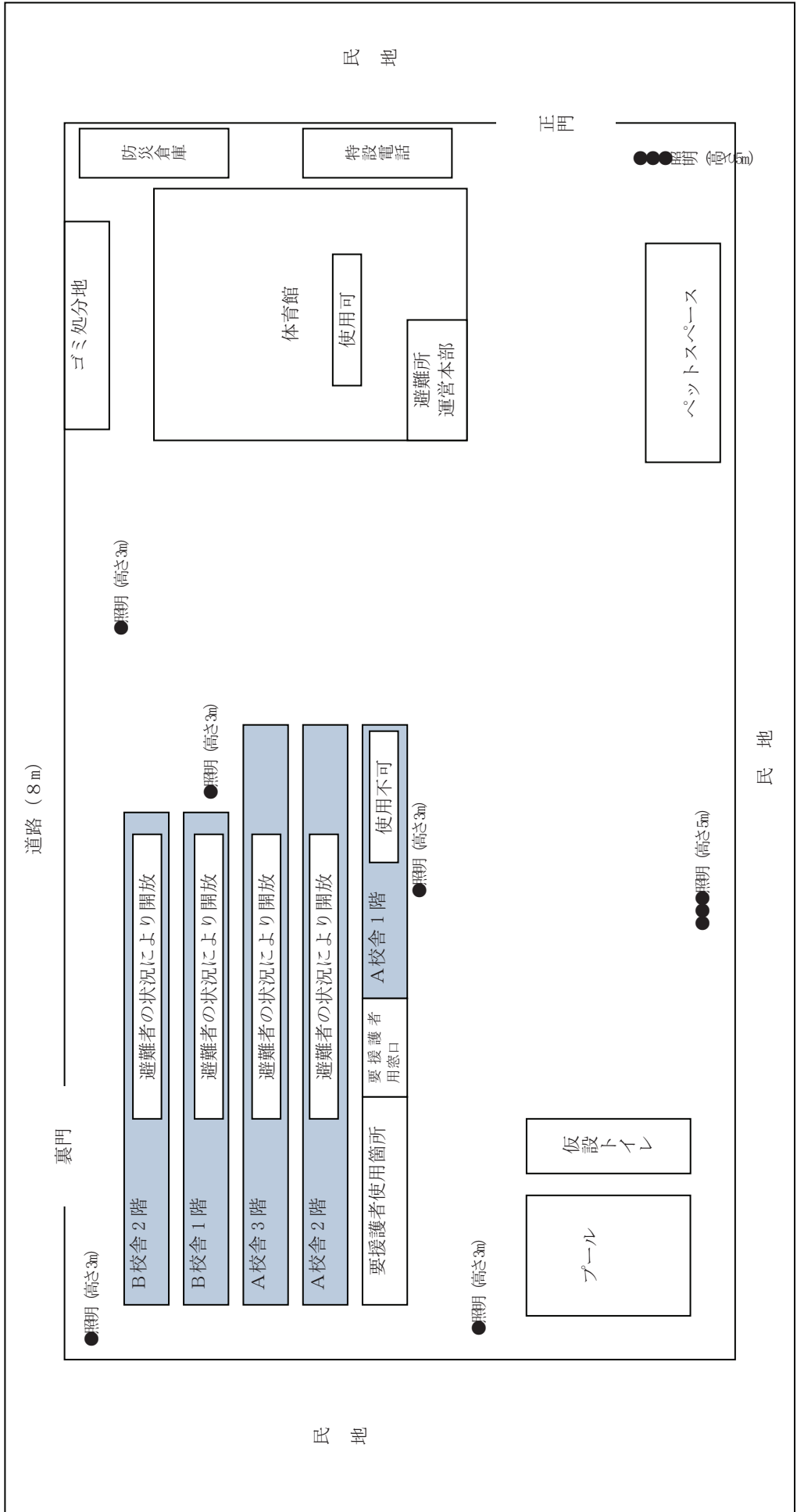
運営本部			所属	役職	氏名
	本部長		〇〇自主防災会	会長	〇〇 〇〇
	副本部長		〇〇自主防災会	会長	〇〇 〇〇
	総務班	班長	〇〇自主防災会	防災委員	〇〇 〇〇
		副班長	〇〇自主防災会	防災委員	〇〇 〇〇
	管理班	班長			
		副班長			
	情報班	班長			
		副班長			
	食料・物資班	班長			
		副班長			
	施設管理班	班長			
		副班長			
	保健・衛生班	班長			
		副班長			
	災害時要援護者班	班長			
副班長					

関係機関	氏名	連絡先	備考
市町連絡員	〇〇 〇〇	×××-×××××	携帯番号など
施設管理者			
民生委員・児童委員			
身体障害者相談員			
知的障害者相談員			
地域防災指導員			

避難所 平面図

(避難所名：〇〇中学校)

建物	A校舎	B校舎	体育館
耐震性	有・無	有・無	有・無



避難所運営組織

運営本部			所属	氏名	備考
	本部長		〇〇自主防災会	〇〇 〇〇	携帯番号など
	副本部長		〇〇自主防災会	〇〇 〇〇	
	総務班	班長	〇〇自主防災会		
		副班長	〇〇自主防災会		
	被災者管理班	班長			
		副班長			
	情報班	班長			
		副班長			
	食料・物資班	班長			
		副班長			
	施設管理班	班長			
		副班長			
	保健・衛生班	班長			
		副班長			
災害時要援護者班	班長				
	副班長				
ボランティア班	班長				
	副班長				

居住組	組長	副組長	居住組	組長	副組長
1 組	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	11 組		
2 組			12 組		
3 組			13 組		
4 組			14 組		
5 組			15 組		
6 組			16 組		
7 組			17 組		
8 組			18 組		
9 組			19 組		
10 組			20 組		

関係機関	氏名	連絡先	備考
市町連絡員	〇〇 〇〇	×××-×××××	携帯番号など
施設管理者			
民生委員・児童委員			
身体障害者相談員			
知的障害者相談員			
地域防災指導員			

避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所

	名 称	電 話	所在地
救護所	〇〇中学校内	×××-××××	〇〇町〇〇
救護病院	〇〇病院	×××-××××	〇〇町〇〇
仮設救護病院			
災害拠点病院			
近隣の医療機関			
福祉避難所			

※福祉避難所：災害時要援護者のために特別の配慮がなされた避難所

避難者リスト

No.	氏 名	性別	住 所	備 考
1	〇〇 〇〇	男	〇〇町〇〇	緊急連絡先など
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

避難状況表

区・組		1組	2組	3組	4組	5組	6組	合計
組織の概要	世帯数	44	40	30	40	50	46	250
	人口	178	150	100	145	202	175	950
避難地・避難所にいる者	世帯数							
	人口							
うち災害時要援護者	人口							
知人宅等にいる者	世帯数							
	人口							
自宅にいる者	世帯数							
	人口							
避難地・避難所にいる ペット数	犬							
	猫							
	その他							

▶ (作成例 2)

平成○年○月○日作成

平成○年度 ○○自主防災会

避難生活計画書

(その他の地域)

構成している町丁目	○○町○丁目
	○○町○丁目

〇〇自主防災会避難生活計画書（作成例）

第1 趣旨

この避難生活計画書は、地震発生時に避難生活が円滑及び迅速にできるよう必要となる事項を定める。

第2 計画に必要となる台帳の整備

この避難生活計画書を作成するために必要となる「世帯台帳」及び「災害時要援護者台帳」については、原則として毎年1回見直しをする。

第3 組織の状況

- 1 様式1「組織の状況」に、役員の氏名、連絡先や世帯数、人口など組織内の状況を記載する。
- 2 会長は、組織内の防災対策及び災害応急対策に関する業務の責任者とする。
- 3 副会長は、会長を助け、会長に事故があるとき、又は不在のときは会長に代わって業務を行う。

第4 東海地震注意情報発表時の対応

- 1 東海地震注意情報の発表を知った者は、速やかに会長に報告する。会長が不在のときは副会長に報告する。
- 2 会長は、様式1「組織の状況」の役員名簿に基づき、副会長、防災委員、各組長の所在を確認し、連絡が取れるようにする。
- 3 会長、副会長、防災委員は、様式2「防災倉庫備蓄表」に基づき、警戒宣言発令時の組織本部の設営のための資機材、備蓄食料等の確認を行う。
- 4 各組長は、住民等に東海地震注意情報の発表を伝達するとともに、冷静な行動の呼び掛けを行う。

第5 警戒宣言発令時の対応

- 1 警戒宣言の発令を知った者は、速やかに会長に報告する。会長が不在のときは副会長に報告する。
- 2 会長は、様式1「組織の状況」の役員名簿に基づき、副会長、防災委員、各組長に警戒宣言の発令を速やかに伝達する。
- 3 会長、副会長、防災委員は、活動拠点として、組織の本部を設営する。
- 4 各組長は、住民等に警戒宣言の発令を伝達するとともに、家庭内の防災対策を呼び掛ける。
- 5 会長、副会長、防災委員は、様式2「防災倉庫備蓄表」に基づき防災倉庫等に保管中の資機材を点検し、必要な場所に配備するとともに、担当要員を確認する。
- 6 会長は、組織内の状況について、必要に応じ市町へ報告する。

第6 地震発生時の避難

- 1 地震発生時に建物の倒壊などにより生活場所が確保できない住民等は様式4「避難地・避難所情報」に記載された「避難所」に避難する。
- 2 地震発生時に火災が延焼拡大し住民等による消火が不可能になった場合は様式4「避難地・避難所情報」に記載された「集合所」に避難する。
- 3 住民等は、「集合所」周辺の火災が拡大し危険が予想されるときは、できる限り集団

避難方法により様式4「避難地・避難所情報」に記載された「一次避難地」に避難する。

- 4 一次避難地に危険が迫ったときは、様式4「避難地・避難所情報」に記載された「広域避難地」に避難する。
- 5 自力避難が困難な災害時要援護者については、組織内で避難所、集合所、一次避難地、広域避難地まで搬送する。
- 6 会長は、避難状況を確認後市町に報告する。
- 7 災害時要援護者のうち、避難所での生活が困難な者については、福祉避難所等に避難が必要なため、市町の連絡員に報告する。
- 8 自宅や知人宅などで生活する者の把握に努める。

第7 避難所の生活方法

- 1 避難所生活の1人あたり必要面積は約3㎡を目安とする。
- 2 避難所の使用可能場所、避難所を共用する自主防災組織ごとの区割りなどについて、発災後、様式8「避難所平面図」に記載する。

第8 避難所運営組織

避難所を共用する他の自主防災組織と協力して避難所を運営するための組織について、発災後、様式9「避難所運営組織」に記載する。

第9 医療救護施設・福祉避難所

避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所について、様式10「避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所」に記載する。

第10 避難者の把握

- 1 様式11「避難者リスト」により避難者を把握する。
- 2 様式12「避難状況表」により組織内の避難状況をまとめる。

第11 避難所の運営

避難所の運営については、第8で定めた避難所運営組織を中心として、避難所運営マニュアルなどを参考に運営する。

組織の状況

(役員名簿)

役職	氏名	住 所	電 話	備 考
会長	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××	携帯番号、勤務先など
副会長				
防災委員				
防災委員				
防災委員				
組長				1組
組長				2組
組長				3組
組長				4組
組長				5組
組長				6組

(組織の概要)

組織の概要	区・組	1組	2組	3組	4組	5組	6組	合計	
	危険予想地域 (該当地域に○)	津波	津波	津波	津波	津波	津波	津波	
		山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	山・がけ	
		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
車両の活用の有無									
世帯数 (世帯)		44	40	30	40	50	46	250	
人口 (人)		178	150	100	145	202	175	950	
避難に支援が必要な者 (人)		7	6	3	6	8	6	36	
外国人 (人)		0	0	3	0	7	0	10	

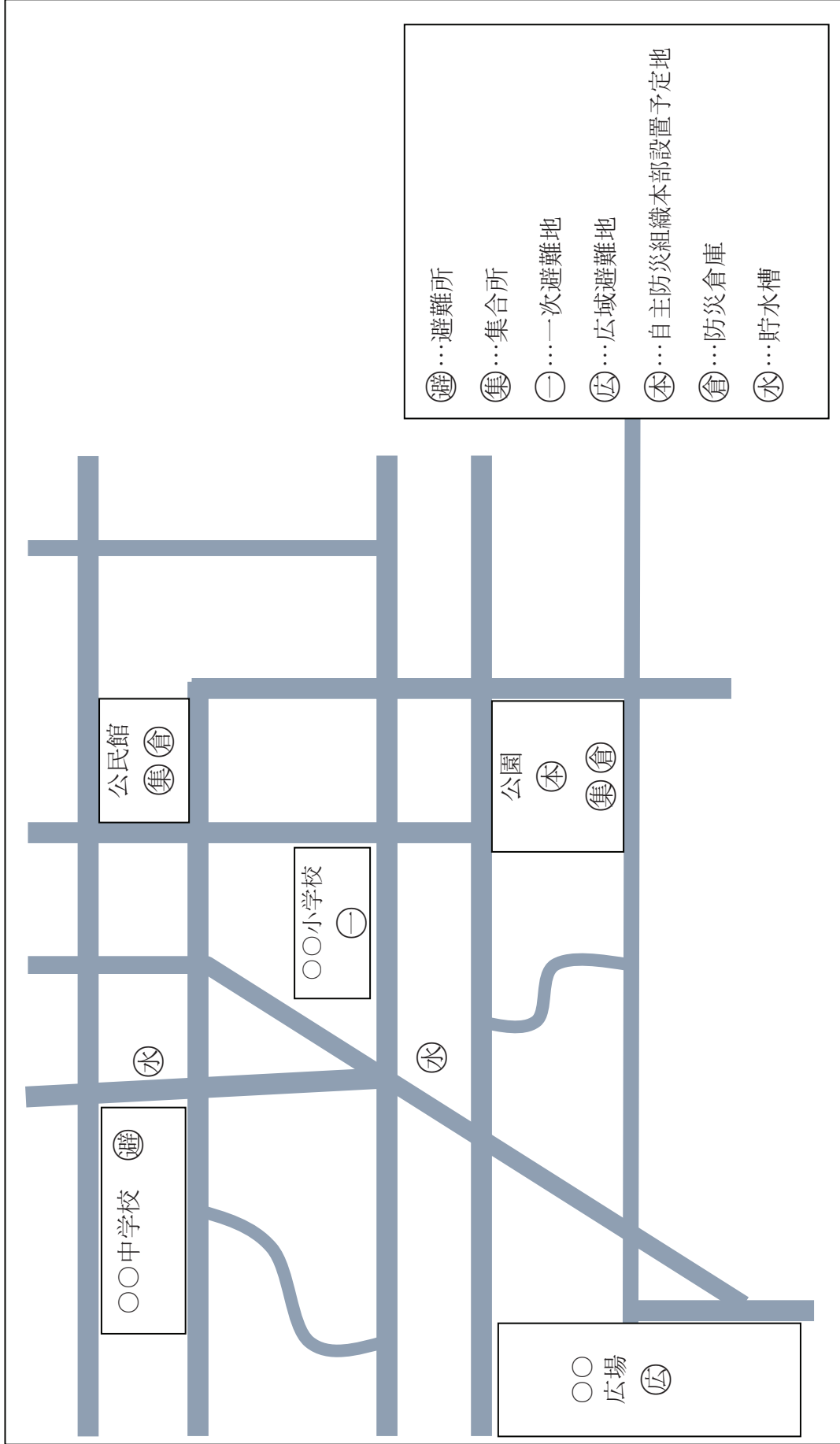
危険予想地域	津波	山・がけ崩れ	なし	合 計
対象地区			〇〇町〇〇	
世帯数 (世帯)			250	250
人口 (人)			950	950
避難に支援が必要な者 (人)			36	36
外国人 (人)			10	10

防災倉庫備蓄表

番号	防災倉庫の所在地	鍵の管理者名	住所	電話
1	〇〇公園内	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××
2	〇〇公民館敷地内	〇〇 〇〇	〇〇町〇〇	×××-××××

種別	品目	防災倉庫番号		合計	種別	品目	防災倉庫番号		合計	
		1	2				1	2		
救急救助	エンジンカッター	1	0	1	情報・組織	電池メガホン				
	チェンソー	1	1	2		無線機				
	ジャッキ					標旗				
	バール					腕章				
	大ハンマー					汎用	小型発電機			
	片手ハンマー				燃料 (ガソリン)					
	鉄線カッター				乾電池 (単一)					
	掛矢				乾電池 (単二)					
	とび口				乾電池 (単三)					
	斧				乾電池 ()					
	なた				強力ライト					
	ペンチ				土のう袋					
	スコップ				初期消火		消火器			
	つるはし						バケツ			
	くわ					可搬ポンプ				
	脚立・はしご					砂・砂袋				
	ロープ					避難生活【食】	食料			
	防塵マスク				水					
	防塵メガネ				受水槽					
	軍手				ろ水器					
リヤカー				釜						
一輪車				鍋						
ゴムボート				ポリタンク						
スコップ				避難生活【住】	テント・天幕					
					ビニールシート					
					仮設トイレ					
					排便収納袋					
					毛布					
救急救命	担架									
	救急セット									
	三角巾									

防災地図 (自主防災組織の周辺図)



避難地・避難所情報

市町連絡先名	電話	地域防災無線番号	地域防災無線自局呼出番号
〇〇課	×××-××××	×××-××-××	×××-××-××

	避難地	避難所
名 称	(要援護者用屋内避難施設)	〇〇中学校
建物の耐震性	有・無	A校舎 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無
	有・無	B校舎 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無
	有・無	体育館 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無
	有・無	<input type="checkbox"/> 有・無
施設管理者		〇〇 〇〇
連絡先		×××-××××
共用する自主防災組織		〇〇自主防災会

集合所（火災時の一時的避難や一次避難地へ移動するときの集合場所）			
名 称	〇〇公園	〇〇公民館	
施設管理者	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
連絡先	×××-××××	×××-××××	
避難する組	1 から 3 組	4 から 6 組	

	一次避難地	広域避難地	
名 称	〇〇小学校	〇〇広場	
施設管理者	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
連絡先	×××-××××	×××-××××	
共用する自主防災組織	〇〇自主防災会	〇〇自主防災会	
		〇〇自主防災会	

※一次避難地（火災時に広域避難地に到達するまでの中継拠点）

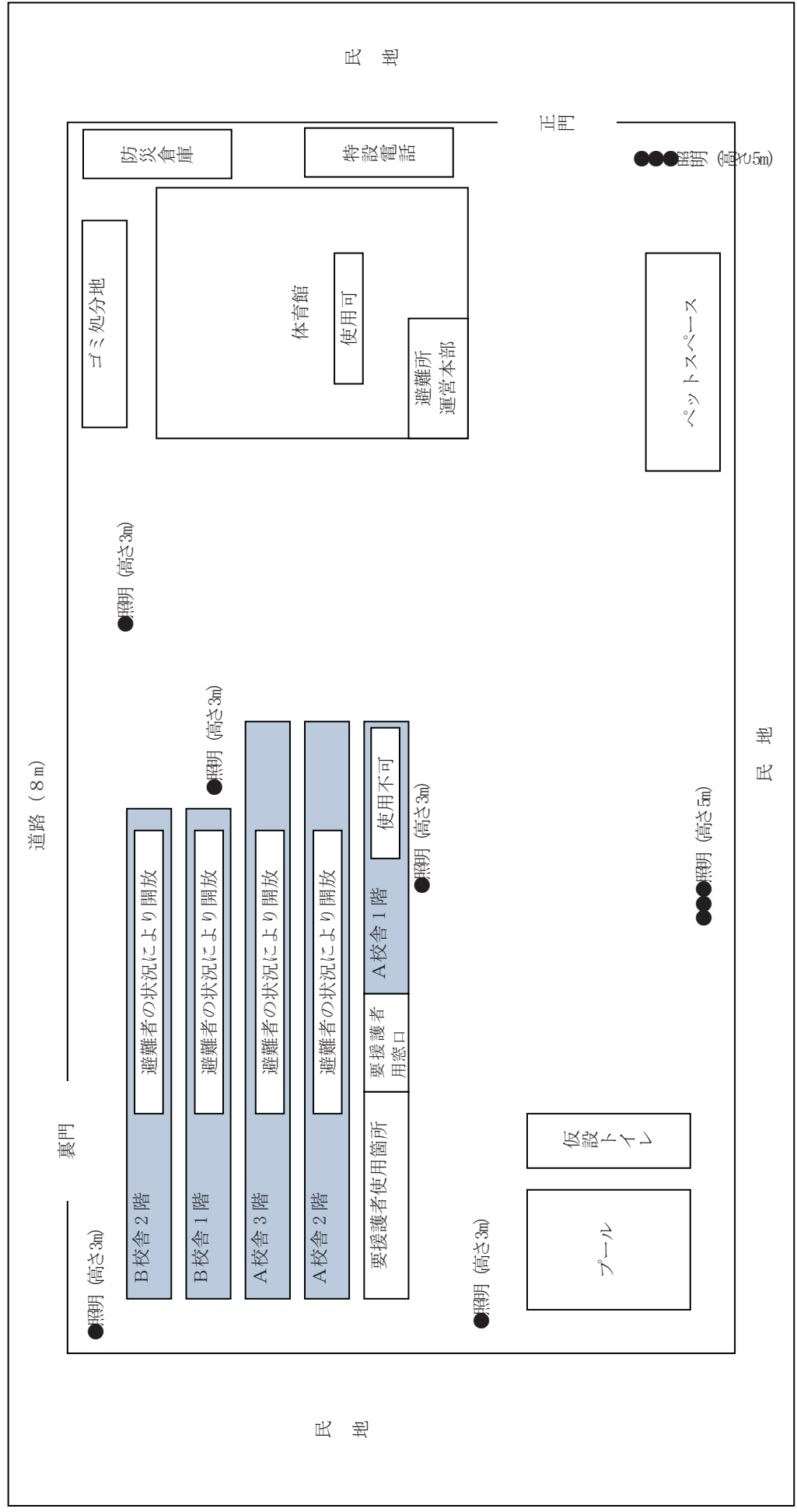
※広域避難地（火災拡大時の最終避難場所）

津波避難ビル			
名 称			
外階段の有無			
名 称			
外階段の有無			

避難所 平面図

(避難所名：〇〇中学校)

建物	A校舎	B校舎	体育館
耐震性	有・無	有・無	有・無



避難所運営組織

運営本部			所属	氏名	備考
	本部長		〇〇自主防災会	〇〇 〇〇	携帯番号など
	副本部長		〇〇自主防災会	〇〇 〇〇	
	総務班	班長	〇〇自主防災会		
		副班長	〇〇自主防災会		
	被災者管理班	班長			
		副班長			
	情報班	班長			
		副班長			
	食料・物資班	班長			
		副班長			
	施設管理班	班長			
		副班長			
	保健・衛生班	班長			
副班長					
災害時要援護者班	班長				
	副班長				
ボランティア班	班長				
	副班長				

居住組	組長	副組長	居住組	組長	副組長
1 組	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	11 組		
2 組			12 組		
3 組			13 組		
4 組			14 組		
5 組			15 組		
6 組			16 組		
7 組			17 組		
8 組			18 組		
9 組			19 組		
10 組			20 組		

関係機関	氏名	連絡先	備考
市町連絡員	〇〇 〇〇	×××-×××××	携帯番号など
施設管理者			
民生委員・児童委員			
身体障害者相談員			
知的障害者相談員			
地域防災指導員			

避難所周辺の医療救護施設・福祉避難所

	名 称	電 話	所在地
救護所	〇〇中学校内	×××-××××	〇〇町〇〇
救護病院	〇〇病院	×××-××××	〇〇町〇〇
仮設救護病院			
災害拠点病院			
近隣の医療機関			
福祉避難所			

※福祉避難所：災害時要援護者のために特別の配慮がなされた避難所

避難者リスト

No.	氏 名	性別	住 所	備 考
1	〇〇 〇〇	男	〇〇町〇〇	緊急連絡先など
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

避難状況表

区・組		1組	2組	3組	4組	5組	6組	合計
組織の概要	世帯数	44	40	30	40	50	46	250
	人口	178	150	100	145	202	175	950
避難地・避難所にいる者	世帯数							
	人口							
うち災害時要援護者	人口							
知人宅等にいる者	世帯数							
	人口							
自宅にいる者	世帯数							
	人口							
避難地・避難所にいる ペット数	犬							
	猫							
	その他							



「地震」 今こそ立ち向かおう全県民で！

編集・発行

静岡県防災局防災情報室

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-3694 FAX 054-221-3252

インターネットによる防災情報は、下記のホームページで提供しています。

静岡県防災局 <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/>

静岡県地震防災センター <http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/>